

天井埋込形換気扇 取付説明書

用途	浴室・トイレ・洗面所用	
タイプ	吸込グリル付タイプ	
品番	2室用 FY-24CPS7IN	3室用 FY-24CPTS7IN

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

注意 「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(下記は、絵表示の一例です。)

- してはいいない内容です。
- 実行しなければならない内容です。

警告

- 仕様変更・改造は絶対にしない**
 火災・感電・けがの原因となります。
 分解禁止
- D種接地工事をおこなう**
 故障や漏電のときに感電するおそれがあります。
 アース線接続
- 内釜式風呂を設置した浴室に取り付けられない**
 排気ガスが浴室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こすことがあります。
 禁止
- 交流100ボルト以外で使用しない**
 火災・感電の原因となります。
 禁止
- メタルラス、ワイヤラス、または金属板張りの木造建築物に金属製ダクトを貫通する場合、メタルラス、ワイヤラス、金属板と接触しないように取り付け**
 漏電した場合、火災の原因となります。

注意

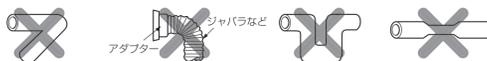
- 炎が当たるおそれのある場所には取り付けられない**
 プラスチック部品が変形したり、着火して火災のおそれがあります。
 禁止
- 浴室内に電源スイッチを設けない**
 湿気により、感電することがあります。
 禁止
- 本体は、十分強度のあるところをしっかり取り付け、強度不足の場合には補強する**
 落下により、けがをすることがあります。
- 部品は確実に取り付け**
 落下により、けがをすることがあります。
- 配線工事は、電気設備技術基準や内線規程に従って、必ず電気工事が確実におこなう**
 誤った配線工事は、漏電、感電や火災のおそれがあります。
- 取り付けの際は必ず手袋を着用する**
 けがの原因となります。
- 本体は指定の方法で確実に取り付け**
 落下により、けがをすることがあります。

お願い

- 高温になる場所(周囲温度40℃以上)には取り付けないでください。**
 製品の変形やモーターの寿命を縮めます。
- 点検口を設けてください。**
 保守点検ができません。
- 給気口を設けてください。**
 効果的な換気ができません。
- 温泉や殺菌用塩素を使用する公衆浴場などには取り付けないでください。**
 故障の原因となります。
- 台所など、油煙の発生する場所やベンジン、シンナーなどの有機溶剤がかかる場所には取り付けないでください。**
 部品の破損の原因となります。
- 傾斜のある天井面には取り付けないでください。**
 シャッター開閉不良や結露水逆流の原因となります。

■次のような配管工事はしないでください。
 風量低下の原因となります。

- (1) 極端な曲げ
- (2) 吐出口すぐそばでの曲げ
- (3) 多数回の曲げ
- (4) 接続ダクト径を小さくする

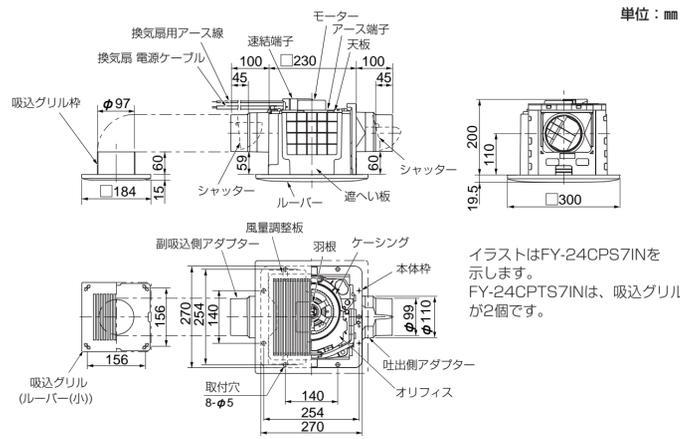


■アース工事をする場合は次のいずれかの方法でおこなってください。
 他の方法でおこなうと接地が十分でない場合があります。

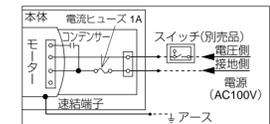


この取付説明書に記載されていない方法で設置され、それが原因で故障を生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。

各部の名前と寸法 お願い



■結線図



●スイッチを使用する場合、FY-SV06W、FY-SV06WC(別売品)をご使用ください。

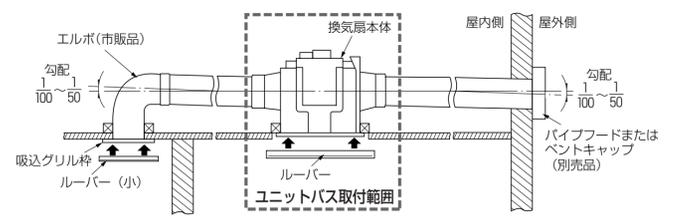
■付属品 末尾の数字は数量をあらわします。

●FY-24CPS7IN (2室用)		●FY-24CPTS7IN (3室用)	
タッピンねじ	6	タッピンねじ	7
バックシン	2	バックシン	4
副吸込側アダプター	1	副吸込側アダプター	1
吸込グリル	1	吸込グリル	1
取付説明書	1	取付説明書	1
ルーバー	1	ルーバー	1

■接続ダクト(市販品)

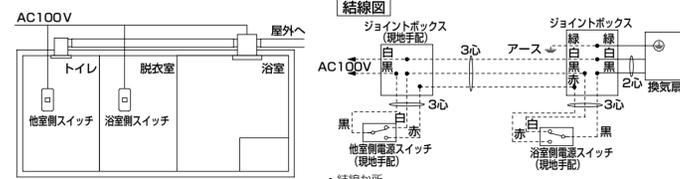
呼び径	種類
φ100 (4番)	塩化ビニル管(VU・VP) アルミフレキダクト ステンレス鋼管

取り付け参考図



- ダクトは必ず屋外側に下り勾配を設けてください。雨水の浸入や結露水の逆流の原因になります。
- 浴室と他の部屋に取り付ける場合は、換気扇本体を浴室に取り付けてください。本体からの結露水落下の原因になります。
- 風量調整板の変更はユニットバス取付範囲外となります。必ず建築側で実施してください。

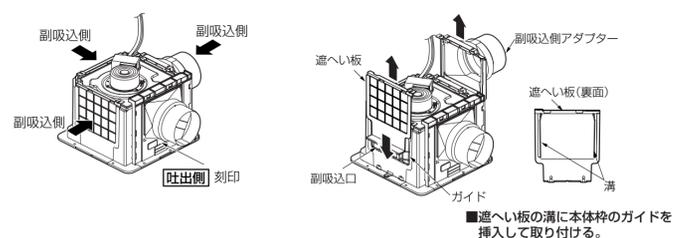
■3路スイッチの場合の設置例



取付方法 以下の手順に従って設置してください。

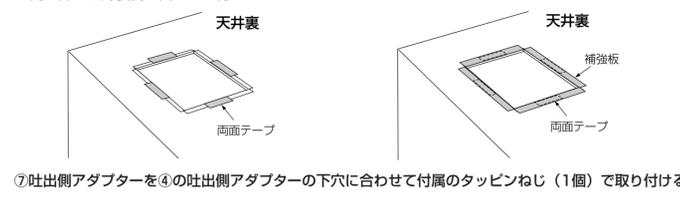
取り付け前の準備

部屋の位置により吐出方向(吐出側刻印)に対して副吸込方向を(1か所(3室用は2か所))決め、不要な副吸込口に遮へい板を付け替える。(副吸込側アダプターははずしておく)

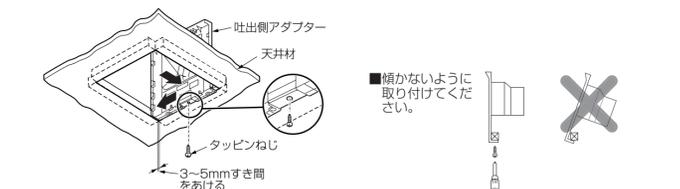


1 本体枠の取り付け

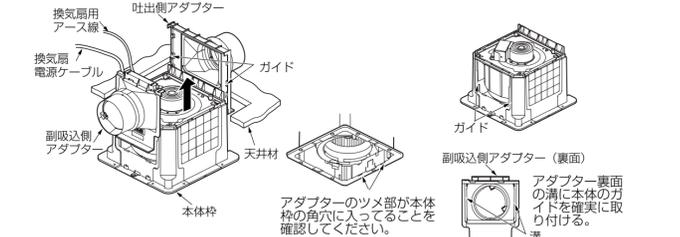
- 換気扇補強枠(KY-17K)内のアルミテープを天井開口部の切断面にはり付ける。
 ※ハイドーム天井では不要です。
 ■浴室内側には15mm以上出さないでください。
- 換気扇補強枠(KY-17K)内のスポンジパッキンを天井開口部室内側にアルミテープの上からはり付ける。
 ■コーナー部は重ね合わせてはり付けてください。
- ツメを矢印方向に押しながら、吐出側アダプターを天井開口部隅に合わせる。副吸込側アダプターを天井開口部に収める。換気扇の本体枠を吐出側アダプターのガイドに確実に引っ掛け、本体枠のガイドを副吸込側アダプターに密着させながら、天井開口部に挿入し、取付穴位置にφ3のドリルで下穴(6か所(3室用は7か所))を開ける。
 ■取り付け穴はすき間防止のため薄肉になっていますので下穴を取り付ける際、ドリル先端で薄肉部中央を突き破ってください。
- 吐出側アダプターを天井開口部隅に合わせる。副吸込側アダプターを天井開口部に収める。換気扇の本体枠を吐出側アダプターのガイドに確実に引っ掛け、本体枠のガイドを副吸込側アダプターに密着させながら、天井開口部に挿入し、取付穴位置にφ3のドリルで下穴(6か所(3室用は7か所))を開ける。
 ■取り付け穴はすき間防止のため薄肉になっていますので下穴を取り付ける際、ドリル先端で薄肉部中央を突き破ってください。
- 換気扇補強枠(KY-17K)内の両面テープを天井開口部の天井裏側の面にはり付ける。
- 換気扇補強枠(KY-17K)内の補強板を両面テープの上にはり付ける。



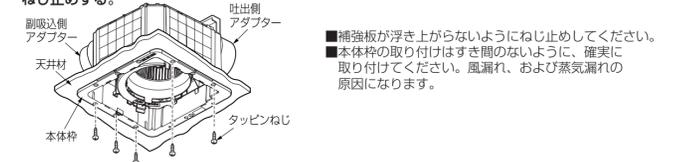
⑦吐出側アダプターを④の吐出側アダプターの下穴に合わせて付属のタッピンねじ(1個)で取り付ける。



⑧副吸込側アダプターを天井開口部に収め、本体枠を吐出側アダプターのガイドに確実に引っ掛け、本体枠のガイドを副吸込側アダプターの溝に引っ掛け、密着させながら天井開口部に挿入する。



⑨本体枠を付属のタッピンねじ(4個)で取り付ける。次に、副吸込側アダプター(1個(3室用は2個))を付属のタッピンねじ(1個(3室用は2個))でねじ止める。

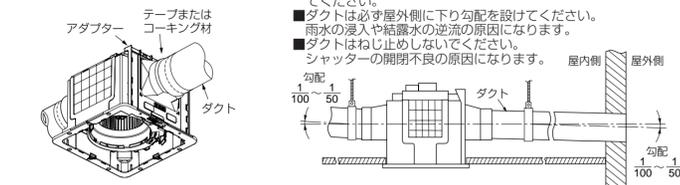


⑩ルーバーのパネをつまんで、パネ取り付け穴に差し込んで固定する。

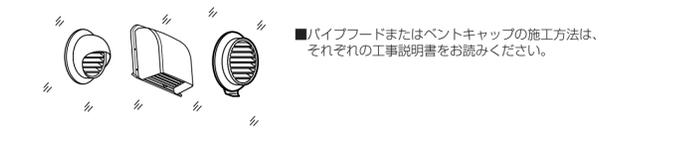
以降、別途工事となります。
 この取付説明書を工事業者様へお渡しのうえ、ご依頼ください。

2 ダクトの接続

- ダクトを各アダプターに差し込み、テープまたはコーキング材で確実に密封する。
 ■風漏れや水漏れの原因になります。
- ダクトは本体枠に力がかからないように、天井より吊り下げてください。
 ■ダクトは必ず屋外側に下り勾配を設けてください。雨水の浸入や結露水の逆流の原因になります。
- ダクトはねじ止めしないでください。
 シャッターの開閉不良の原因になります。
- 補強板が浮き上がらないようにねじ止めしてください。
 ■本体枠の取り付けはすき間のないように、確実に取り付けてください。風漏れ、および蒸気漏れの原因になります。



⑫外壁面には、パイプフード(別売品)またはベントキャップ(別売品)を取り付ける。



3 吸込グリルの取り付け

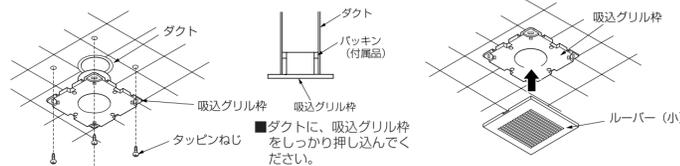
①吸込グリル枠と接続ダクトのすき間をなくするため、下図を参考に、付属のバックシンを吸込グリル枠にはり付ける。(吸込グリル枠とダクトを接続テープで固定する場合は不要です。)



②ルーバー(小)を吸込グリル枠から取りはずす。③パイプの外周に木枠を作り野線に取り付ける。

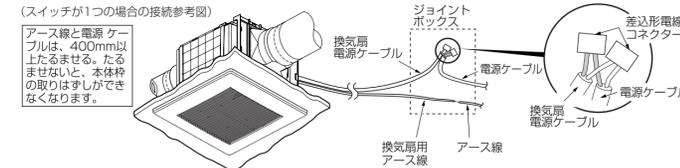


④天井板をはり付け吸込グリル枠をパイプに挿入し付属のタッピンねじ(4個)で取り付ける。⑤ルーバー(小)を押し上げて吸込グリル枠に取り付ける。



4 電源ケーブルとアース線の接続

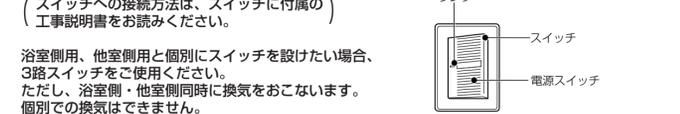
電源ケーブル(市販品: VVFケーブルφ1.6またはφ2.0)と換気扇電源ケーブルを屋内配線用差込形電源コネクター(市販品: 2種)で接続する。
 また換気扇用アース線も接続する。(電源ケーブルおよびアース線は、400mm程度たるませておく)
 ■屋内配線用差込形電源コネクター(市販品: 2種 JIS C2813適合品、推奨品: ワゴジャパン(株) WGT-2) 2個を使用してください。



■一次側の電源ケーブル、アース線の結線部は、必ずジョイントボックス内に収めてください。ユニットバスに同梱されているジョイントボックスを使用してください。

5 スイッチ(別売品)の接続

結線図に従って正しく結線する。(スイッチへの接続方法は、スイッチに付属の工事説明書をお読みください。)



6 試運転とルーバーの取り付け

- 結線や取り付けに異常がないか確認する。
- ルーバーを引き下げ、パネをつまんで取りはずす。
- スイッチを操作して換気扇の動作を確認する。

④2室(3室)の風量を調整するため、2枚の風量調整板をツメからはずし、位置を変えてツメに差し込む。工場出荷時は、(B)にセットしてあります。

	■風量比の目安			
	(A)	(B)	(C)	(D)
本体側	77	79	81	83
副吸込側	23	21	19	17

	■3室換気の場合			
	(A)	(B)	(C)	(D)
本体側	72	74	76	78
副吸込1側	14	13	12	11
副吸込2側	14	13	12	11

※上記風量比は、副吸込1側と副吸込2側のダクト抵抗が同一の場合での目安です。
 ※副吸込側の風量を増やす場合は、風量調整板を(A)の位置でご使用ください。



パナソニック株式会社
 パナソニック エコシステムズ株式会社
 〒486-8522 愛知県春日井市南栗東町字中仲田4017番 TEL(0568)81-1511
 ©Panasonic Ecology Systems Co., Ltd. 2010